



# ジャネット号! GO!

英語指導助手のジャネットさんのエッセイ



大人になり、サマーランドで過ごしていた1994年は恐ろしい年でした。ペンティクトンの丘から、20 kmも広がった大きい山火事が起こったからです。サマーランドゴルフコースから、炎が見えました。



消防剤を撒く消防飛行機の様子 ※イメージ画像

2003年にはオカナガンの山火事がケロウナにある住宅200棟を奪い去り、サマーランドから湖を挟んだ向かい側の自然公園にある広大な土地を焼きました。煙は何週間も充満し無くなりませんでした。

カナダやアメリカの西側では、乾燥する季節と暑い季節が同時に来るので、とても危険な野火を起こします。通常7月から8月にかけて起こりやすいので、住民は注意深く過ごしていますが、雷や極度の乾燥によって起こる火花が山火事を引き起こしてしまいます。

今のところはサマーランドや、バンクーバーの南にある私の借りている家は安全です。

もうすぐ一時帰国をするので、こういった状況が見てきます。

私の地元は最近様々な災害に見舞われています。先月は川や湖が氾濫し、今月は山火事です。

湿度がある春から乾燥した夏へと変わり、雷や人為的なミスがブリティッシュ・コロンビア州の内陸部に広がる山火事の発火原因となっています。

人口が11,000人(おおよそサマーランドの人口と同じ)が住むウィリアム湖の町では、1週間ほど避難のアラームが鳴り続いていて、1,500~2,000人ほどのいくつかの町では山火事から避難をしています。



山火事の様子 ※イメージ画像

最近のニュースでは山火事が起こっている188ヶ所のうちの22ヶ所が人が住む地域となっており、約9,000人もの人が山火事から逃れるために避難をしていると伝えていました。

サマーランドの南にあるオカナガンに住んでいた幼少期、7月や8月に起こる雷や嵐を見るのが楽しみでした。外にあるデッキに家族と座って眺めていたのを覚えています。その中で一度だけ、火事が起こってしまった時に、消防飛行機から消防剤を撒いているのを見たことがあります。



茂岩俳句会

庭で夫うちわ片手に一服す  
長崎 あけみ  
晴れ間待ち今日こそと決め草を引く  
牧野 ユキ  
炎天下手作り筏川下り  
松井 テル子  
刈り込みしホームに残る草いきれ  
大崎 和子  
休日に潮焼けするも癒されし  
野田 のり子  
サンデラス外せば戻る街の色  
中屋 吟月



豊寿文芸

青き空ふるわせて鳴く蝉しぐれ  
堀川 富子  
歩を突きて白扇びしり若き棋士  
堀田 幸子  
蝉の声隣へ急ぐ回覧板  
新保 幸子  
蝉が鳴き昨日の里が変わりけり  
青木 公範  
バラ園の女の腰に花ばさみ  
前川 ひとみ  
蒲の穂の向こうの小径肩ふたつ  
上田 知子  
雲の峰影を待ちつつカメラマン  
福井 一浩  
西日中愛車あやつる夏帽子  
垣内 順子  
団塊の世代と言われ昼寝夫  
徳田 則子  
馬車で行く出作五反の三尺寝  
伊藤 泰山  
夏の蚊の一喜一憂血の数値  
佐藤 通彦

## 我が家のアイドル



ささけ 佐竹 みちる ちゃん  
親♡力・宏美/豊頃南町  
平成28年7月5日生まれ

絵本が大好きな「みちる」です♪  
好き嫌いなさくなくて何でもたべさん  
食べててきあがったブックリほっ  
ぺがチャームポイントです♡  
今はつたい歩き、がんばってます!  
みなさん、どうぞよろしくね☆\*\*

